

ぎなん

6月


 岐南中学校教育目標
 自ら動く

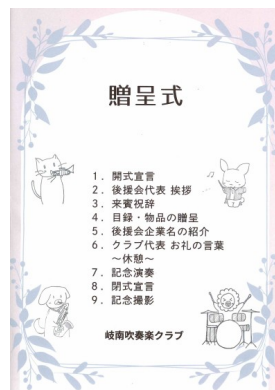
吹奏楽部の贈呈式が行われました！

5月号の岐南中学校学校だより『ぎなん』でも紹介しましたが、令和8年度より、羽島郡は地域クラブがスタートしています。この6月も地域クラブの紹介をしようと思います。運動系のクラブだけでなく、文科系の活動も『TEAM-H』の一つとして活動しています。

今回は吹奏楽部の活動を拝見いたしました。6月7日（日）岐南町役場の講堂にて行われました。

吹奏楽部は、活動する上で楽器がどうしても必要となります。その楽器は、先輩から代々引き継がれ、大切に扱ってきたことと思いますが、どうしても修理が必要になることや、使用できなくなることもあります。一つの楽器のお値段が高いため、修理代がかかりますし、簡単に購入できるものではありません。

そこで、今回は岐南町の企業で、賛同していただける方々に楽器を購入してもらえたため、そのお礼を演奏でお返しする「贈呈式」で演奏会を見せていただきました。



【 『感謝』 を伝えたい！ 】

「岐南吹奏楽クラブ」は3年生20名、2年生20名、1年生12名の合計52名の、岐南中学校で最も大勢の生徒が所属する吹奏楽部です。

6月7日（日）の贈呈式は、令和8年度における初めての演奏会の場となっていたからでしょうか、また、今回は岐南吹奏楽クラブを助けていただいた方々に前に演奏するので、「感謝」の意も伝える演奏にしなければならなかったからでしょうか、吹奏楽クラブのみなさんの気合を感じました。

「感謝」…常に大切にしたい言葉です。

聴いてもらえる方が見えるから、演奏技能を高めようと思います。「頑張っておいで！」と送り出してくれる家族がいるから、練習に参加することができます。後援して下さる方がみえるから楽器を手にすることができます。楽器を運んで下さるから、会場を替えて演奏ができます。

部長の江崎さんのお礼の言葉にもありましたが、先輩の演奏を聴いて、吹奏楽部に入った人がいて、そして、さらに後輩へとつながっていきます。歴史のつながりから、岐南中吹奏楽部の存在が、いろんな方々にパワーを与えられるクラブにしていきたいという内容の話をしてくれました。今回の演奏からは感謝の気持ちがよく伝わってきました。

今回は「岐南吹奏楽クラブ」が素敵な演奏を見せてくれました。

時間が許すようであれば、見に行きたいと思う生徒や職員がいると思っています。どうか、こういった活動が、皆さんの知るところとなることを願います。

岐南中学校は決して丸投げにするつもりはありません。『TEAM-H』と連携していきたいですし、これからも頑張る岐南中生を応援したいと思っています。